

趣意書 特別名勝・松島の町興し 「紅蓮禪尼供養・島巡り観月灯籠流し」

虎哉禅師が著した『松島方丈記』以来、藩政時代の松島は「日本が誇る天下第一の景勝地」として、数々の史書に記されてきました。近年の「日本三景」発信に加え、松島の「町興し」には、「何故、松島が日本一の魅力的な景勝地として伝えられて来たのか」を大切に据えるべきと考えています。歴史的には、平安末期『撰集抄』に記された「雄島の“月まつしまの聖と西行上人”の説話」から連綿と伝えられてきた観月文化に注目して頂きたいのです。

平安貴族から和歌に詠まれた松島の月は、言葉に尽くせないほどの風雅を保ってきました。

月明かりの松島が日本庭園の歴史（作庭史）上、理想的な庭園（寂光浄土）と慕われました。

仙台藩祖・政宗公が、湾内の要に亀ヶ崎の月見御殿【後の観瀾亭】を配した安土桃山様式の建築群は白砂青松の磯に見事な調和を成し、日本一の風情が結集されました。こうして全国諸藩の大名は、塩竈・松島（千賀の浦・雄島が磯）をモデルとした日本庭園を作庭したと伝えられています。

（京都市桂離宮、枳殻園、醍醐寺・三宝院などの池泉船遊式庭園）

松島の最大行事は、伊達家・菩提寺の瑞巖寺による盂蘭盆会御施餓鬼、「松島灯籠流し」です。そもそも「お盆の十六夜は、月夜が大変綺麗で、納涼を兼ねた先祖供養の行事であり、古来より我が国の民俗行事が月明かりのお陰で安心して夜間外出できた慣習にある」と思われます

名月に関わる松島の歴史的文化行事を紹介してみましょう。

三月十五夜・・・徳治二年（1307）、頼賢の碑【国指定重要文化財】建立の日。

七月十六夜・・・瑞巖寺の御施餓鬼「松島灯籠流し」と念仏踊り。

八月十三夜・・・心月庵紅蓮禪尼の命日。

八月十五夜・・・慶長9年（1604）、伊達政宗瑞巖寺【国宝】の縄張り。仙台藩の月見行事。

九月十三夜・・・仙台藩の月見行事。

十二月十五夜・・・政宗公による五大堂【国指定重要文化財】落成の日。

郷土史ボランティア「おくの細道松島海道」は、2000年から「松島を日本一の景勝地と絶賛した」史書の中から、「芭蕉の道を辿り、往時を偲ぶ集い」を毎年継続し、松島の観月文化を発信しています。さらにこの輪を広げようと、松島島巡り観光船（企）の同意を得て、「心月庵紅蓮禪尼供養の島巡り観月灯籠流し」を2014年より継続しています。お陰様で2017年、宮城県より「観光王国みやぎおもてなし大賞」を受賞しました。今回の灯籠流しは4年目を迎えますので、早稲田大学「卯月ゼミ」の皆さんや地域のボランティア・ガイドとともに、「日本一と慕われた松島の月」を町興しの柱とし、微力ながらも「日本一に相応しい松島のおもてなし」を目指し、毎年灯籠流しを継続したいのです。この趣旨に賛同の有志・スタッフを募りますので、ご理解・ご協力を心からお願い申し上げます。

以上

平成29年8月吉日

主 催	おくの細道松島海道	代 表	京 野 英 一
協 賛	株式会社 松島こうれん	代表取締役	星 稔
	松島島巡り観光船企業組合	理 事 長	大 山 弘
	株式会社 むとう屋	代表取締役	佐々木 繁ほか
	別紙団体【瑞巖寺、円通院、天麟院、伊達政宗歴史館ほか】		

後 援	松 島 町、	一般社団法人松 島 観 光 協 会、
	み や ぎ 街 道 交 流 会	
協 力	早稲田 大 学	教授 卯 月 盛 夫
	東北福祉大 学	教授 鈴 木 康 夫

企画書：第20回「芭蕉の道を辿り往時を偲ぶ集い」—紅蓮禪尼供養、島巡り観月灯籠流し—

開催日：平成29年・10月7日（土）（名月・九月十六夜）

主催：おくの細道松島海道 共催：早稲田大学卯月ゼミナール松島班

● 紅蓮禪尼供養、島巡り観月灯籠流し（108個限定）

今年は心月庵紅蓮禪尼の命日・嘉暦四年（1329）八月十三夜にちなみ、10月7日（土）の名月（九月十六夜）に行います。（小雨決行）



松島伝統の燈籠流し・百八個(108)の復活
仙台市博物館所蔵「陸奥国名所絵図」

「佐久間晴岳の松島燈籠の画」参照
—観瀾亭からみる灯籠流し—

開催目的：松島観光リピーターの創造を図りながら、「扶桑第一の松島」を発信できる人材育成を目指します。【河北新報・2010-2-25「持論時論」記事：東北の観光振興—長期的な視点で戦略性の高い観光資源発掘に力を入れるべきである】参照

「松島灯籠流しの由来」：『仙台事物起源考』（元宮城県図書館長・菊池勝之助著）に記載されています。一部抜粋：「奈良時代の天平年間（729-747）に中国から伝えられたものを、瑞巖寺が円福寺と称した頃に松島に伝わったものであるという。…しばらく途絶えていたが、瑞巖寺 110 世曹源祖水が文化八年（1811）頃から 108 個の灯籠を流し、再興され伝えられている」。



観瀾亭・月見崎の名月



瑞巖寺総門に昇る月



雄島・渡月橋の月と金波



福浦島の灯籠と満月



西行戻しの松より五大堂を照らす名月



大高森を照らす残月と金波

■ 月の暦は太陽暦では解りにくく、閏月もあり陰暦による1か月をほぼ29日と換算して出来ています。

（「松島の月撮影」：京野英一 malkyo@wave.plala.or.jp 無断での画像転載はご遠慮下さい。）